

1. 評価結果概要表

作成日 平成 21 年 12 月 4 日

【評価実施概要】

事業所番号	0572607752
法人名	有限会社 あじさい
事業所名	グループホームあじさい仙南
所在地	秋田県仙北郡美郷町野荒町字街道の上235-3 (電 話) 0182-56-6789
評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会
所在地	秋田県秋田市東通3丁目9-31
訪問調査日	平成21年12月4日

【情報提供票より】 (平成21年11月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成14年12月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 13 人, 非常勤 3人, 常勤換算	14.1

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	1 階建ての	～ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	20,000 円	その他の経費(月額)	5,000 円
敷 金	有 (円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		750 円

(4) 利用者の概要 (11月10日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護 1	7	要介護 2	5		
要介護 3	2	要介護 4	2		
要介護 5	2	要支援 2			
年齢	平均 84.1 歳	最低	66 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	高橋医院、仙北組合総合病院、たかはし歯科医院
---------	------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

国道からほど近い場所に、1号館・2号館の2ユニットのホームです。利用者にやさしい緩やかなスロープを伝い、玄関にはソファを配置され、季節の装飾品で飾られ、家庭的でゆったりとした気持ちで出迎えてくれる優しいホームです。それぞれが別の作りとなっており、その特徴を活かし、2号館に集まり、交流を深められています。回想法を随所に用い、昔ながらのおやき、おだんご、巻きずし、赤飯等の節句に因んだお菓子作りや食事作りを利用者に教えていただきながら共に作り楽しまれています。また、毎日欠かさず行っている合唱は、意欲を引き出し、大きな声を出すことでリハビリにも繋がっております。職員は、利用者の希望を尊重され、こだわりの店や場所に出かけられるように支援されています。また、医療連携を取られ、利用者・家族の安全・安心に繋げ、利用者、職員ともに明るく笑顔の絶えないホームです。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)
	前回評価では改善項目はありませんでした。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	今回の自己評価は、管理者が日常の状況を判断され、独自に記入されています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
	メンバーである町内会長の欠席が多く、行政、家族、利用者を中心にホーム関係者が出席され、2か月に1回の会議が行われています。活動内容、外出、イベント、医療連携、研修出席報告、行事予定が次第に沿って報告されています。中でも、防災訓練や外部評価、ターミナルケア等の報告があり、安心できる支援作りに取り組まれています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
	契約時の説明、玄関への掲示、ご意見箱の設置、面会時の状況報告や電話等によって、意見や要望、意向の確認が行われ、運営への反映が行われています。
重点項目④	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
重点項目④	散歩時に挨拶や言葉を交わし、花畑や鯉の養殖の見物、畑の作物をいただいたり、防災訓練時には一緒に訓練に参加いただく等のお付き合いがあります。また、地域の学校行事、敬老会、民謡や踊りのイベントへの参加で、地域の方々との交流が行われています。さらに、中学生の訪問学習を継続して受け入れられ、地域に貢献もされています。

2. 評価報告書

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「自立した生活を支援することにより、地域の社会福祉に貢献するとともに、家族が安心して楽しく暮らせるように支援する」という事業所独自の理念を作りあげています。	○	職員と話し合いながら、これから地域密着型サービスとして、もっとわかりやすい理念に変えていこうとされています。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の持つ意味をミーティングで説明され、ホームの見えやすい場所に掲示し理念の共有と実践に向け取り組まれています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	散歩時、気軽に声を掛け合い、花畑や鯉の養殖場の見物、野菜をいただく等、日常的なお付き合いがある他、学校行事、敬老会、民謡や踊りの案内をいただき、交流を深めています。また、中学生の訪問学習を継続して受け入れ、地域に貢献しています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価内容は全職員に配布され、さらなる向上に取り組まれました。今回、自己評価表については、管理者が日頃の状況を判断され、記入されています。	○	自己評価について、意義を理解され、評価を生かした取り組みをされることを期待します。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行政、町内会長、家族、利用者、管理者、事務員が主なメンバーとなり、ほぼ2か月に1回開催されており、グループホームの活動状況、外出、イベント、医療連携、行事予定、研修出席報告等が行われています。	○	町内会長がメンバーとなっていますが、欠席が多いことやメンバー構成にも工夫されることを期待します。また、運営推進会議が単に報告会にとどまることなく、サービスの質の向上に活かせるように取組まれることを期待します。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	アンケートや調査物、介護保険改定等の質問や相談等、連携をとりサービスの質の向上に取り組まれています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時や電話、写真、便り等によって、随時暮らしぶりや健康状態等の状況報告が行われています。また、金銭状況についても、毎月の請求書送付時に明細を報告しています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約時の説明と事業所内の掲示、意見箱の設置等によって、意見や要望、苦情等の引き出しに努めています。また、家族からは面会時、利用者からはさりげない会話から、要望や意見を見出し、運営に反映しています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員間の異動は今年度は行っておらず、退職時のみ、退職前に新任職員を採用し、一緒に業務を行い、慣れていただくように配慮され、ダメージを防ぐ配慮をされています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修については希望や段階に応じ積極的に参加できるように取り組まれ、研修報告や資料等の回覧が行われています。また、内部研修によって、専門知識の習得等が行われ、職員の育成が行われています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会が開催する職員研修や管理者研修に、積極的に参加され、交流を深めております。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している	本人や家族が安心してサービスを利用できるように、見学や体験利用をしていただき、雰囲気にならなから、開始されるなどの工夫が見られます。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	昔ながらの行事や昔のことの会話の中から、これまでの生き方を理解され、日々の生活の中で、共に学び、支えあう関係づくりが行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中で、一人ひとりの思いや意向の把握に努め、本人の気持ちを尊重し意向に沿ったケアが行われています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人の思いや意向、家族の要望等が反映できるように、職員間で話し合いが行われ、ケアプランを作成しています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3か月ごとのケアプランが作成され、担当者会議によってモニタリングが行われ、新たなプランが作成されています。また、状態・状況に応じ、随時の見直しが行われています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況、要望に応じ、入退院・外出・外泊時の送迎やこだわりの場所での買い物、理美容等の相談に柔軟に対応されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関への受診や往診、訪問看護を受けていますが、他に希望の病院がある場合の受診対応も行われております。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	協力医・訪問看護師との医療連携を確立されており、ターミナルケアの実績もあります。家族、医師、訪問看護師、管理者等と重度化や終末期の対応について十分に話し合い、全員で方針を共有されています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉の掛け方や対応によって、一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねることのないように、尊厳を持って接しております。利用者の記録等の個人情報の取り扱いについては、事務所に保管され、プライバシーに配慮されています。	○	面会者について、ノートに記載され、どなたでも閲覧できる状態となっておりますので、工夫されることを期待します。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースを尊重され、その人らしい希望に沿った支援が行われています。個々に合わせた一日のスケジュール表も作成されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	味付けや調理方法について利用者から助言をもらいながら、利用者も交えて調理が行われ、楽しみながらの食事や片づけが行われています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には、火・木・土の3日間を入浴日としていますが、毎日でも入浴は可能で、希望に応じて実施しています。夜間も希望に応じて実施していましたが、現在は、希望者もおらず、実施していません。入浴できない方には、足浴や清拭で対応されています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	自分でやりたいと申し出る方や日常生活の中からできることを見つけ出し、その人の力量に応じて、洗濯物たたみや掃除、食事の準備・後片付け、絵や御殿まりの作成等、職員も共に学びながらの支援が行われています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩やスーパーへの買い出し、イベントへの参加、帰省、墓参り、ドライブ等々、希望に沿って日常的に外出支援が行われています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている	鍵をかけることの弊害を理解されており、全く鍵はかけられておりません。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災発生時の避難訓練が日中・夜間を想定し、地域の消防署の指導のもと、行われています。また、近所の方の協力も得られ、参加していただいています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士からの助言をいただいたメニューを参考に、栄養バランスの取れた献立が作成され、摂取量をチェックし、不足となっている利用者については、職員間で話し合い、訪問看護の助言・指導を仰いでいます。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間には、行事時の写真や作品が飾られ、家庭的でゆったりとくつろげるソファやテレビの配置、みんなと一緒に活動できる食堂テーブル等、生活感や季節感を十分に取り入れ、居心地良く過ごせるように工夫されています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者本人が身の回りで使用していたテーブルや椅子、絨毯、テレビ等が持ち込まれ、お位牌、趣味のものや手作りの作品、写真等で装飾され、意向に沿った自身の生活スペースを作り出しています。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。